



第67号2018年多摩

俊風会  
NEWS

衆議院議員  
伊藤しゅんすけ  
Shunsuke Ito

発行元:伊藤俊輔連合後援会  
地元事務所〒194-0021  
町田市中町 2-6-11 サワダビル3F  
TEL 042-723-0117 FAX 042-729-7935  
国会事務所〒100-8982  
千代田区永田町 2-1-2 衆議院第 2-1122  
TEL 03-3508-7150 FAX 03-3508-3640

## 9か月間の通常国会を通じて一責任をとらない政治

国会に送って頂き9か月、通常国会も会期末を迎えました。森友や加計などの問題に多くの時間を費やし、結局、公文書改ざんと虚偽答弁を1年にわたり繰り返し、国会を軽視し、国民を騙し続け、何も解明されないまま、役人に責任を押し付けて政治家は誰一人責任を取らないで幕引きを図ろうとしています。抵抗して命を絶たれた財務省職員もあり、自ら問題解決を図ろうとしないで逃げ続けてきた政権の責任は極めて重たいと思います。公文書管理の不祥事は、森友加計のみならず、働き方改革でも、南スーダンPKO活動日報でも紛失や破棄が続き、政府にとって都合が悪い文書は「記憶も記録」も無くす無責任体質になっています。2度と無責任な公文書管理がされないように、私も提出者の1人となり、「公文書改ざん防止法案」を提出しました。



## IRカジノ法案に反対しました

働き方改革やIR法案、TPP、参議院定数6増案など多くの法案で誤魔化し答弁が続き、本質的な議論が出来ずに強行採決されました。働き方改革は、法案作成の前提になった政府の労働時間実態調査がデタラメだったことが発覚し、謝罪撤回しました。IR法案では、複合施設と言いながらその収益の8割をカジノで見込んでおり、その対象の多くは外国人ではなく日本人であることが事実となり、カジノ業者(外国の企業が有力)がお客に対し、貸金業務を行えることも指摘されています。世界でもカジノを作れば儲かる状況とは言えず、むしろ治安対策や犯罪対策、ギャンブル依存症対策など総合的に考えなくてはならず、カジノで経済成長との倫理的な問題、カジノ(ギャンブル)を合法化することへの懸念もあり、まだまだ議論の必要があります。



衆議院事務総長へ法案提出

## 自らの議員歳費3割分を毎月被災地へ寄付



戸羽市長(陸前高田市)

東日本大震災から7年以上が経過し、被災地の復興は道半ばです。国民は復興税20年間も負担するにも関わらず、国会議員らだけはたった2年で元通りになっています。

私は今年4/25に陸前高田市を訪れ、自分の議員歳費3割削減分(100万円)を寄付させて頂きました。

また、西日本豪雨で多くの被災された方々にご冥福とお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧復興に努めて参ります。

8月には、特に被害の大きい広島・岡山・愛媛の3県に自分の歳費から合計150万円の寄付をさせて頂く予定です。これからも僅かなことですが、復興支援を続けて参ります。



本会議登壇

# —中国李克強総理らと会談—

7月23日に衆議院議長と各党代表の議員団で中国（北京・西安・深圳・香港）を訪問しました。李克強総理（序列2位）や栗戦書（序列3位）全人代常務委員会委員長などと会談することができました。

私はかつて中国北京大学に留学し、ビジネスでも中国との繋がりを持って来ました。2007年に経済人として初めて李克強総理（当時遼寧省書記）ともお会いし、今回の訪中では直接当時の写真なども見ながら再会が出来ました。中国はいま、小売店ですら現金（紙幣）を嫌がるほど、電子決済が急速に進み、またネットで何でも買える時代に。コマース市場（電子商取引）なども発展。深圳では携帯電話メーカーのHUAWEI（ファーウェイ）創始者の任正非氏とも会談し、ドローンや自動運転をはじめ、IoT分野（物にネットを繋げる）では、世界を劇的に変えるような新しいものを産み出しています。現地では日本をKMK（来て見て帰る）と揶揄されるほど、日本は基礎研究のレベルは高いが商品化やビジネスモデルにするのは極めて遅いなどの意見もあり、日本も2020年オリパラに向けて、世界のスピード感に対応し、電子決済などをはじめ多くの課題があります。



俊輔の地元政策

- ・多摩市を日本一環境先進都市へ。・待機児童ゼロへ。多摩市は現在、待機児童89名。
- ・多摩都市モルール延伸で多摩センター駅→鶴川駅→TBS→子供の国線の南北を繋ぐ新路線提案。
- ・団地の建て替え、空室対策と家賃、バリアフリー（EV 設置）・物を売る街から時間を売る街へ。
- ・オープンスペースを活用し、通年エンターテインメントの街へ。
- ・オリンピックで多摩市も自転車ロードレース会場になります。最大限経済効果を。

## 伊藤俊輔プロフィール

・1979年8月5日 町田市生まれ 町田市在住 ・富士幼稚園卒 ・桐蔭学園小・中・高・大卒  
 ・中央大学経済学部卒 ・中国北京大学留学 ・会社経営元役員 ・維新政治塾1期生  
 ・第46回47回衆議院議員選挙次点 ・第48回衆議院議員選挙76450票初当選  
 主な役職/国土交通委員会/原子力特別委/議院運営委員会/党国対役員/党政務調査会副会長/党財金・総務副部会長/党拉致問題対策本部/原発ゼロの会/日中友好議連/  
 日本パプアニューギニア議連/障がい・難病政策推進議連/旧公団居住安定化推進議連

皆様のお声を是非お聞かせください。

返信 FAX は 042-729-7935 までお願い致します。

.....  
 .....  
 .....  
 .....  
 .....

ご氏名:

TEL:

FAX:

ご住所:

MAIL:

早朝の駅頭は、私の原点です



HP <http://www.i-shunsuke.com>  
 Twitter <http://twitter.com/shun76450>

Mail [officeshunsuke2012@gmail.com](mailto:officeshunsuke2012@gmail.com)  
 FB <http://www.facebook.com/shun76450>

インスタグラム  
<http://www.instagram.com/shun76450>